

フランスのピアノズム

『安川加壽子の発表会アルバム』を通して

パリで音楽教育を受け、第2次世界大戦の勃発と共に帰国された安川加壽子先生は、フランスの音楽教育を伝えるべく、1950～60年代に門下生発表会を開きました。フレンチ・バロックや近現代作品を中心としたそのプログラムは、こんにちでも斬新で示唆に富んでいます。

ここでは、『安川加壽子の発表会アルバム』（青柳いづみこ編／音楽之友社）の収録作品を中心に、安川先生によって導入された伝統的な奏法、ペダリングなどを解説しながら演奏いたします。



使用テキスト  
『安川加壽子の発表会アルバム』  
青柳いづみこ 編  
音楽之友社刊 税込 1760 円

演奏曲目

クーラン 小さな風車／修道女モニク  
ピエルネ 小さなガヴォット／昔の歌  
カゼッラ 『子供のための11の小品』より  
プーランク 『村物語』より 他



参考書籍  
『蘇る、安川加壽子の「ことば」』  
青柳いづみこ 編  
音楽之友社刊 税込 2640 円

参考 CD

『昔の歌—安川加壽子  
門下生発表会より』  
ピアノ：青柳いづみこ  
コジマ録音／ALCD-7285  
税込 3080 円



青柳いづみこ ● Izumiko AOYAGI



ピアニスト・文筆家。安川加壽子、ビュール・バルビゼの両氏に師事。フランス国立マルセイユ音楽院卒。東京藝術大学大学院博士課程修了。学術博士。武満徹、矢代秋雄、八村義夫作品を集めたリサイタル『残酷なやさしさ』により、平成元年度文化庁芸術祭賞。演奏と文筆を兼ねる存在として注目を集め、著作は 34 冊、CD は 23 枚を数える。そのうち 18 枚の CD が『レコード芸術』誌で特選盤となるほか、安川加壽子の評伝『翼のはえた指』で吉田秀和賞、『青柳瑞穂の生涯』で日本エッセイストクラブ賞、『六本指のゴルトベルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ音楽賞。2020 年、浜離宮朝日ホールにて演奏生活 40 周年記念公演を開催。近著に『ウィンテージ・ピアニストの魅力』（アルテスパブリッシング）、『ショパン・コンクール見聞録』（集英社新書）、『パリの音楽サロン：ヘルエボックから狂乱の時代まで』（岩波新書）、CD に『昔の歌』『シューベルトの手紙』（ALM）、『仮面のある風景 クーラン作品集』（TKI）など。2023 年 10 月には、西本夏生との 2 台ピアノによる『カプリス 気まぐれ』（ALM）リリース。テレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK E テレ『クラシック TV』、『ラ・フォル・ジュルネ音楽祭』『東京・春・音楽祭』等にも出演。日本演奏連盟理事、日本ショパン協会理事、兵庫県養父市芸術監督。大阪音楽大学名誉教授、神戸女学院大学講師。

オフィシャルサイト：<https://ondine-i.net> 公式 Facebook ページ：<https://www.facebook.com/aoyagi.izumiko>

申込日 月 日

安川加壽子の  
発表会アルバム

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別			